

# 霞城学園通信

平成28年度 第3号 （通巻第321号）  
発行／山形県立霞城学園高等学校 I II III部

## 平成28年度創立記念式典

6月6日（月）に山形テルサで創立記念式典が行われました。校長式辞で、井上恭一校長は平成19年6月1日の創立10周年記念式典でI部からIV部の生徒会が制定した「未来宣言」に触れ、霞城学園は思いやりと優しさを手にしながら自分の生き方を探し求める人が集うところだという話をされました。さらに、他の人を思い



やることのできる人が自分を大切にする人であり、そのような人が他の人から頼りにされるのだと、霞城学園高等学校の生徒が目指すべき姿を示しました。

続いて、来賓を代表して同窓会長の佐藤大様より御祝辞をいただきました。佐藤同窓会長は校歌の中の「つよく求める情熱だけが確かな私の手がかりだろう」という一節に触れ、「失敗しても乗り越えて、在校生が霞城学園の歴史をつむいでほしい」とお話しくださいました。



### 記念講演会 「夢をあきらめない」

#### ～覚悟が切り開く道～

#### 講演者 池田めぐみ氏

創立記念式典に続いて記念講演が行われました。女子フェンシング日本代表で、2004年アテネ・2008年北京の2大会連続オリンピック出場を果たした池田めぐみ氏を講師に迎え、「夢をあきらめない」という演題で御講演いただきました。映像でフェンシングという競技について説明しながら、日本代表として世界を転戦しながらランキングを上げ、オリンピック出場を目指したころの話をしてくださいました。過度なストレスや両膝の前十字靭帯損傷、リハビリをしながらの試合、ランキングのプレッシャーの中で「夢がツライ」と苦しみながらも、自分と向き合い、原点に立ち返って自分を信じ、自分の心と体を変えていったこと、「あきらめることをあきらめよう」と、本気の覚悟で腹をくくったこと、自分で変わったと思えるまで5年かかったこととお話しになり、「失敗と挫折はチャンス」だとおっしゃいました。

また、2011年に乳がんが見つかったときに気づいたことが「乗り越え方を知ってる」ということだったというエピソードから、スポーツから困難を乗り越える方法、生きるすべを学んでいたという話をしてくださいました。今は息子さんに恵まれ、「健康に生きる」ことが夢だと語られ、最後に、「夢をあきらめないこと」と「本気の覚悟」があれば、どんな困難も乗り越えられると締めくくられました。池田さんが励まされた言葉として最後に挙げられたものを記します。



「負けた経験が無ければ、勝った喜びは味わえない。だから両方受け入れなければいけないんだ」  
ラファエル・ナダル

「10000回だめでへとへとになっても10001回目は何か変わるかもしれない」

Dreams Come True 「何度でも」

「オリンピックに行ったからといって偉くなる訳じゃない。人としても尊敬される人間が本当に強いということ」 池田さんの知人の言葉

# いざ、全国へ

## —県定時制通信制総合体育大会結果—

6月18日（土）に県総合運動公園体育館とNDソフトスタジアム山形を会場にして、第63回山形県定時制通信制総合体育大会が開催されました。陸上競技、卓球、バドミントンの3競技が行われ、8月に東京都・神奈川県で行われる全国高等学校定時制通信制体育大会への出場を賭けた熱戦が繰り上げられました。本校定時制からは15名の選手が全国大会出場を勝ち取りました。選手の皆さんの全国大会での活躍を期待しています。

### 【陸上競技】

男子	100m	第3位	板垣 裕斗	全国大会出場
	走幅跳	第1位	板垣 裕斗	全国大会出場
	砲丸投	第3位	佐藤 遼磨	全国大会出場
	円盤投	第3位	佐藤 遼磨	全国大会出場

### 【卓球】

男子団体（檜 大悠 青木 玲音 前川 展陽 阿部 洸太）	第1位	全国大会出場
男子シングルス	第1位	檜 大悠 全国大会出場
	第3位	阿部 洸太 全国大会出場
女子シングルス	第2位	大坂 愛莉 全国大会出場

### 【バドミントン】

男子団体	第1位	霞城学園Ⅰ部
シングルス	第3位	若木健之介 松岡 晃大
ダブルス	第1位	若木健之介・大畑 将暉
女子団体	第1位	霞城学園Ⅲ部
	第3位	霞城学園Ⅰ部
シングルス	第2位	アドヴィンクラ シャメン
	第3位	荒井美智佳 渡辺奈々子
ダブルス	第1位	アドヴィンクラ シャメン・佐藤 滯菜
	第2位	荒井美智佳・村山 亜希
	第3位	渡辺奈々子・結城あかね

### 県選抜メンバー（全国大会出場者）

男子	大畑 将暉 若木健之介 松岡 晃大
女子	荒井美智佳 村山 亜希 渡辺奈々子 アドヴィンクラ シャメン 佐藤 滯菜



## 平成29年度南東北インターハイをPR



県定通総体の卓球競技の開会式で、「はばたけ世界へ南東北総体2017」のPR活動が行われました。本校卓球部主将の檜大悠君が「来年は全国のトップ選手が活躍するのを山形で見ることが出来ます。また、今大会は全日制的先生方や生徒の皆さんに支えられて試合ができることに感謝して、来年は私たちが応援していきましょう。」とPRしました。